

計画段階評価について
山陰道（こはま小浜～たまがわ田万川）
第2回 説明資料

平成29年8月22日

国土交通省 中国地方整備局

1. 計画段階評価の検討の流れ	・ ・ ・ 2
2. 第1回意見聴取の結果	・ ・ ・ 8
3. 対応方針（原案）の検討	・ ・ ・ 20

1. 計画段階評価の検討の流れ

1-1. 中国地方の高規格幹線道路網

○小浜～田万川間は、日本海国土軸の一部を担う山陰道(須子～萩)の一部。
 ○島根県益田市～山口県萩市の県境部に位置し、北側の日本海と南側の山地に挟まれた自然豊かな地域である。

【広域図】

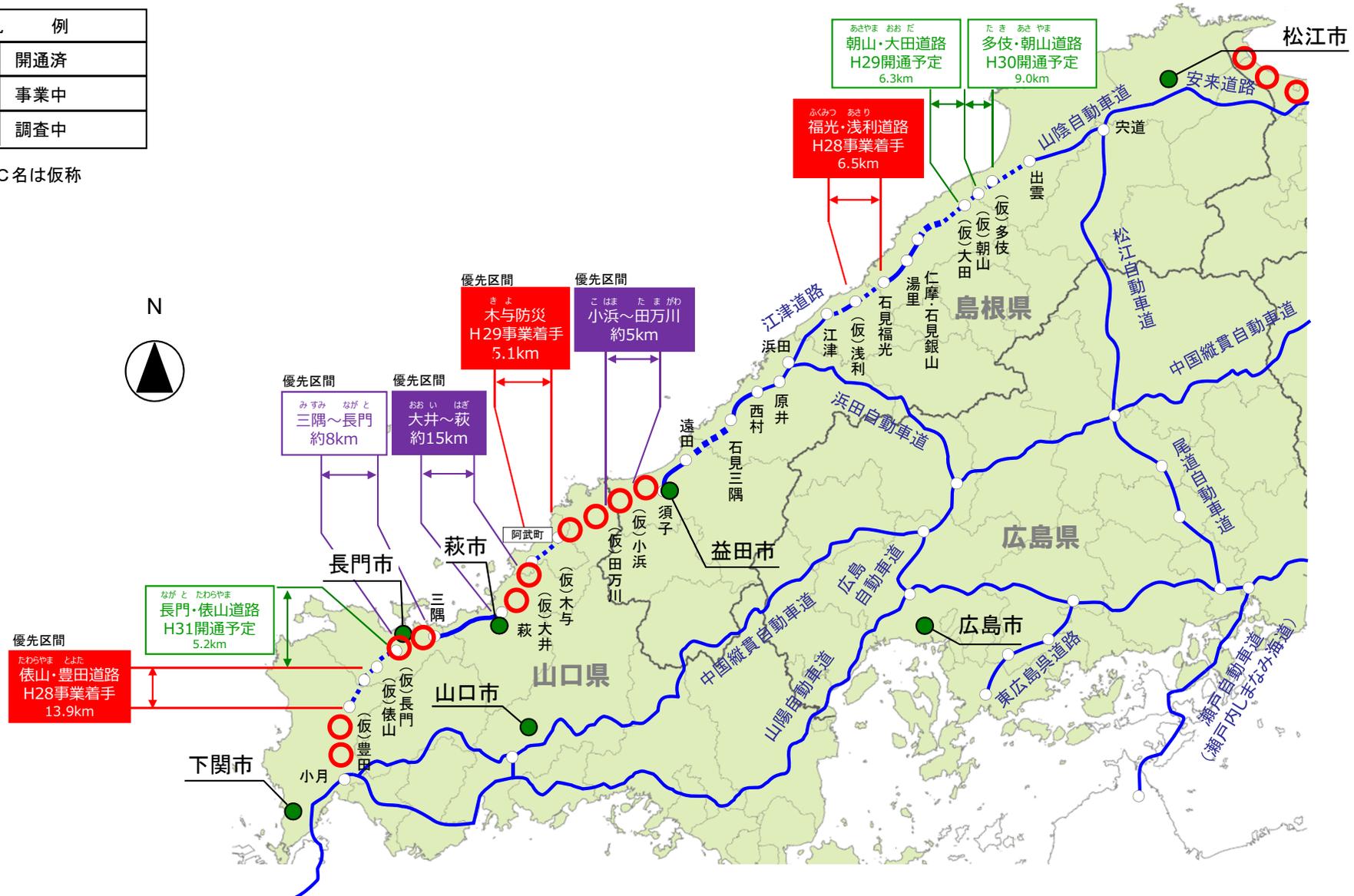


1-2. 山陰道（島根県、山口県区間）の進捗

○島根県の福光・浅利道路及び山口県の俵山・豊田道路はH28年新規事業化、木与防災はH29年新規事業化。
 ○大井～萩間はH27年10～11月に、小浜～田万川間はH28年11月～12月に、地域の意見聴取を実施。

凡 例	
	開通済
	事業中
	調査中

※事業中のIC名は仮称



1-3. 前回審議内容

■平成28年度第1回社会資本整備審議会道路分科会中国地方小委員会の概要

実施日：平成28年6月7日（火） 開催

主な議事：

- ①道路の状況と課題
- ②地域の状況と課題
- ③課題整理
- ④意見聴取方法

■平成28年度第1回社会資本整備審議会道路分科会中国地方小委員会での第1回意見聴取にあたって主な指摘事項と対応状況

指摘事項	対応状況
<ul style="list-style-type: none">・意見聴取について、地域の方にとっても利用しやすい道路となるようにアンケート項目を検討し、多くの意見を拾い上げる努力をすること。・2回目以降の意見聴取の方法についても柔軟に検討すること。	<ul style="list-style-type: none">・課題に対して自由回答欄を設けたことや、利用しやすい道路へのアイデア、整備する上での配慮すべき点を意見聴取した。

1-4. 計画段階評価の検討の流れ

■計画段階評価手続きの進め方、スケジュール(案)

【平成27年4月】

優先区間絞り込み

中国地方小委員会

- 地域、道路、交通の状況と課題
- 優先区間絞り込みの観点
道路の現状・課題の整理
意見聴取の結果
- 優先整備区間(案)の検討、選定

【平成28年6月】

中国地方小委員会

- 計画段階評価手続きの進め方、スケジュール(案)
- 地域、道路の状況と課題
- 意見聴取方法

【H28年11月～12月】

意見聴取
(第1回)

- 地域、道路の課題
- 山陰道を整備する上での配慮事項
- ◆ 意見聴取方法
《ヒアリング》
対象者：
関係自治体・団体
企業
- 《アンケート》
対象者：地域住民
企業等
道路利用者等

中国地方小委員会

■ 政策目標の設定等

■ 評価項目の設定等

■ 比較ルート案(複数案)等

■ (概略ルート、構造等) 対応方針案等

意見聴取

対応方針の決定
(概略ルート、構造等)

※各段階で随時自治体と調整

地方小委員会

1-5. 政策目標（案）の設定

◇ 地域の課題や沿線自治体の総合計画を踏まえ、当該地域の将来を見据えた改善すべき地域課題(政策目標(案))を以下に設定

地域や道路の状況や課題

圏域の将来像

地域の将来像

1. 通行止め時に機能するネットワーク（代替性）の確保※
2. 安全性・走行性の向上
3. 産業の活性化
4. 観光振興の促進
5. 救急医療機関への速達性、確実性の確保

※国道191号が通行止めになっても、近くに選択できる幹線道路を確保

◇ 対策案の検討

【代替性】

災害時や事故発生時の通行止めによる社会経済活動や日常生活への影響を回避できるか

【安全性・走行性向上】

道路線形等が改善され安全性、走行性が確保できるか

【産業の活性化】

地域産業等の市場拡大、企業誘致の促進を支援する速達性が向上できるか

【観光関連】

観光地間や交通拠点の周遊を図る速達性が向上できるか

【医療関連】

救急医療機関への速達性・確実性が向上できるか

当該地域の高規格幹線道路の整備方針を検討

(既存の道路ストック活用の可能性も含め、複数の対策案を設定し検討)

2. 第1回意見聴取の結果

2. 第1回意見聴取の結果

1) 意見聴取の概要

■調査期間:

平成28年11月～12月

<アンケート配布範囲>

※配布数は、地域住民アンケート

■配布方法:

- ①住民は全戸配布、企業は郵送配布
- ②上記以外は市町役場や道の駅等へのアンケート用紙の設置
- ③HP上でのWEBアンケート

■対象:

下表の通り



住民アンケート（全戸配布・郵送）約22,750世帯	
益田市	旧益田市
萩市	旧田万川町
	旧須佐町
事業所アンケート（郵送）：約1,400社	
住民アンケート全戸配布エリアに本店・支店・営業所のある企業	
道路利用者アンケート（郵送）：38箇所	
常設	道の駅、官公庁等
道路利用者アンケート（ヒアリング）：14箇所	
道の駅	ゆうひパーク浜田、ゆうひパーク三隅、サンエイト美都、匹見峡、シルクウェイ日原、津和野温泉和みの里、道の駅ゆとりパークたまがわ、道の駅萩しーまーと、道の駅萩往還、道の駅萩さんさん三見、道の駅ハピネスふくえ、道の駅うり坊の郷、道の駅あさひ、道の駅阿武町
道路利用者アンケート（WEB）	
浜田河川国道事務所のHPにWEBアンケートを掲載	
ヒアリング：57団体・観光地9箇所	
自治体	
警察署・消防署・病院（2次医療施設）・介護施設	
農協	
漁協	
森林組合	
商工会議所	
観光協会	
地元企業（農業、畜産業、林業、観光業）	
工業団地（石見臨空ファクトリーパーク）	
地域外企業	
観光客（周辺の道の駅及び主要観光地）	
ドライバー（運送会社、バス会社・郵便局）	

■質問内容:

【質問票】 (回答はがきに記載してください)

質問1 「小浜～田万川間」の国道191号には、以下の①～⑦の交通課題があります。その他に、どのような課題があると思いますか。感じていることをご自由にお書きください。

- ① 各拠点への移動に時間がかかる
- ② 急カーブ、急勾配区間が存在し、快適に走行できない
- ③ 交通事故が発生しやすく、危険である
- ④ 交通事故による通行止めが発生すると、大きな迂回を強いられる
- ⑤ 大雨による通行止めが発生すると、大きな迂回を強いられる
- ⑥ 歩道が無い箇所があり、危険である
- ⑦ 大型車が多く、危険である

質問2 この地域の将来を見据えた改善すべき地域の課題について、以下の①～⑤の質問に対して、**5段階評価**でお答えください。

<5段階評価> 5. 強く思う 4. やや思う 3. どちらとも思えない 2. あまり思わない 1. 全く思わない

- ① 地域の主要産業である農業の振興には、今の道路では時間がかかり、「産地の維持」や「販路拡大」の妨げとなっている
- ② 事故や災害時に通行止めや大幅な迂回を強いられ、安定した企業活動の妨げとなっている
- ③ 高速道路までの距離が長く時間もかかることが、石見臨空ファクトリーパークへの企業誘致の妨げとなっている
- ④ 移動時間が長いことが、萩・石見空港のある益田市と著名な観光地がある萩市、津和野町との広域観光連携の妨げになっている
- ⑤ 救急搬送において、今の道路では線形が悪く、搬送時間がかかることが、地域の安全・安心の確保の妨げとなっている

質問3 山陰道が利用しやすい道路となるためのアイデアや、山陰道を整備する上で配慮した方がよいと思うことについて、考えられることをご自由にお書きください。

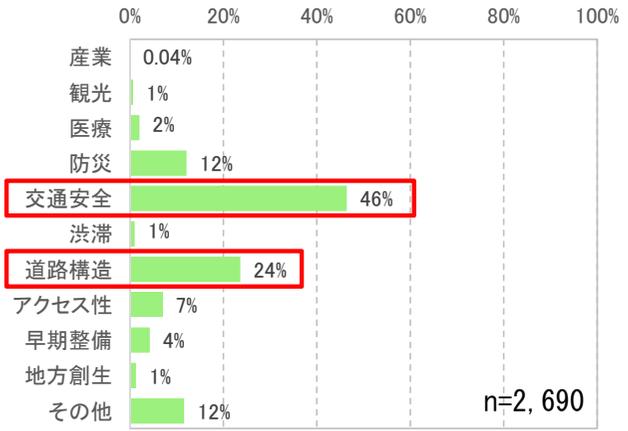
質問4 その他、この区間の道路整備の必要性や今後の方向性などについて、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

質問は以上です。ありがとうございました。

2. 第1回意見聴取の結果

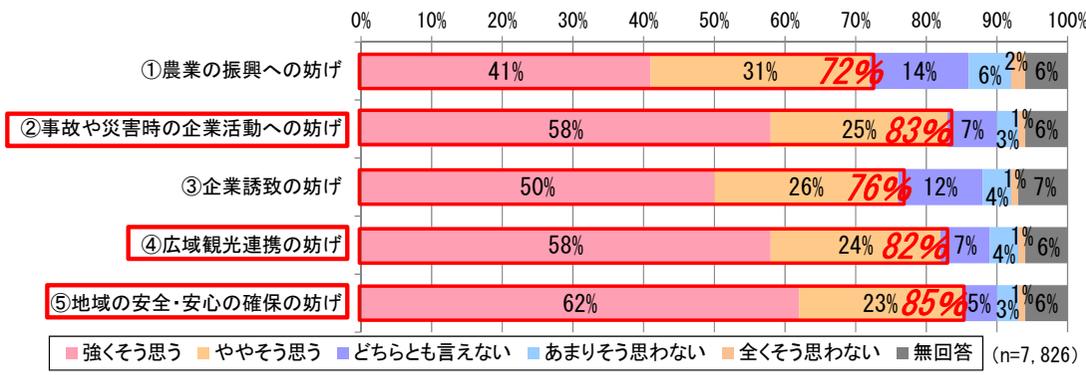
2) 意見聴取結果の概要

■質問1. 交通の課題について



全体の回答の約5割が「交通安全や道路構造に課題を感じている」と回答している。

■質問2. 地域の課題について

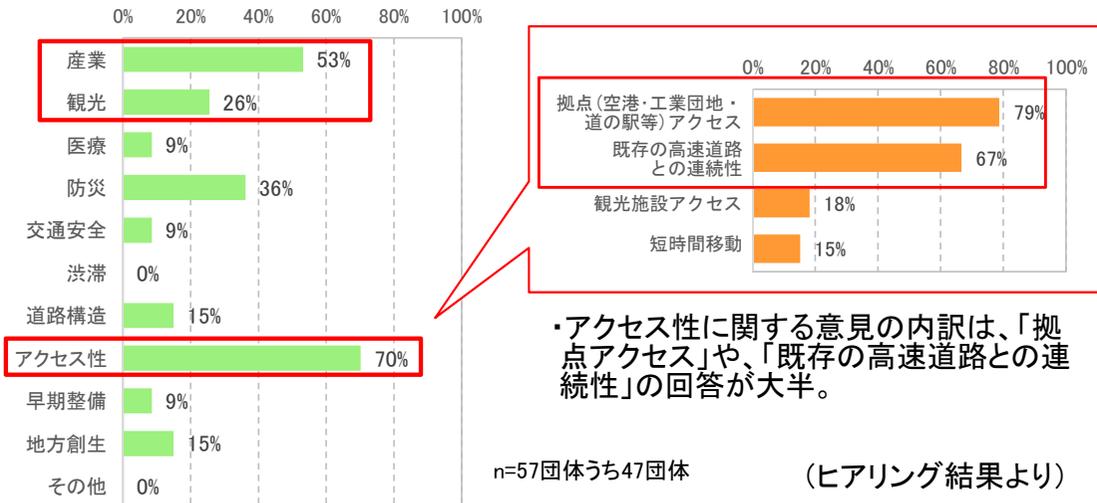


「事故や災害時の企業活動への妨げ」、「広域観光連携の妨げ」、「地域の安全・安心の確保の妨げ」を地域の課題としている意見が多い。

■質問3, 4. 主な自由意見

走りやすく、工業団地・空港などの拠点や集落等へのアクセス改善についての意見が多い。
特に、ヒアリング結果においては、全体の約7割が「アクセス改善を望む」と回答している。

- ・鮮魚を空輸しているが、萩石見空港は現状では遠いうえ利便性が悪く、山口宇部空港を利用せざるを得ない。(漁協)
- ・工場間輸送等で周辺道路(雁丁線や国道191号)を使うため、小浜～石見空港ファクトリーの結節にも十分留意してほしい。どのように出入りができるようになるかが大事である。(製造業)
- ・萩・石見空港は萩への来訪のゲートウェイとして重要であり、山陰道による移動の効率化により、萩石見空港から入り、萩を周遊し、山口宇部空港から出るといった、観光ルートを選択肢の向上を期待している。(観光協会)



・アクセス性に関する意見の内訳は、「拠点アクセス」や、「既存の高速道路との連続性」の回答が大半。

2. 第1回意見聴取の結果

3) 意見聴取の概要

○アンケート調査目的を踏まえて、アンケート調査項目を設定。

【ステップ①】解決すべき課題の把握・原因分析			【ステップ②】政策目標の設定				
課題		原因	第1回アンケート		地域の将来像	政策目標(案)	第1回アンケート (利活用のアイデア、配慮)
交通課題	代替路	・事故や災害による通行止め発生時には、大幅な迂回が発生している	質問1	①各拠点への移動に時間がかかる ②急カーブ、急勾配区間が存在し、快適に走行できない ③交通事故が発生しやすく、危険である ④交通事故による通行止めが発生すると、大きな迂回を強いられる ⑤大雨による通行止めが発生すると、大きな迂回を強いられる ⑥歩道が無い箇所があり、危険である ⑦大型車が多く、危険である ※上記の確認および、その他の課題の把握	防災	通行止め時に機能するネットワーク(代替性)の確保	質問3
	防災	・事故や災害時において、信頼性のある道路が無い					
	走行性	・急カーブ、急勾配など、道路構造に問題がある区間が存在し、走行性に問題がある			産業・経済	産業の活性化	
	事故	・人形トンネルや田万川トンネル、カーブ区間で死傷事故が発生している					
改善すべき地域の課題	産業(農産品)	・益田市では国営農地における大規模な農業展開や益田産品のブランド化を図る特産品創出を進めているが、今後「産地の体制維持」及び「更なる販路拡大」が課題	質問2	①地域の主要産業である農業の振興には、今の道路では時間がかかり、「産地の維持」や「販路拡大」の妨げとなっている ②事故や災害時に通行止めや大幅な迂回を強いられ、安定した企業活動の妨げとなっている ③高速道路までの距離が長く時間もかかることが、石見臨空ファクトリーパークへの企業誘致の妨げとなっている ④移動時間が長いことが、萩・石見空港のある益田市と著名な観光地がある萩市、津和野町との広域観光連携の妨げになっている ⑤救急搬送において、今の道路では線形が悪く、搬送時間がかかることが、地域の安全・安心の確保の妨げとなっている	産業・経済	産業の活性化	※山陰道を利用しやすい道路とするためのアイデア、整備をする上での配慮事項を把握
	産業(畜産)	・災害時に飼料の安定調達や製品の出荷に支障が発生し、経営に影響を及ぼす					
	産業(企業立地)	・益田市において、ファクトリーパークの企業立地強化支援を行っているが、高速道路へのアクセス性等が劣るため立地が進まない			医療	救急医療機関への速達性、確実性の確保	
	観光	・萩・石見空港がある益田市と世界文化遺産に登録された明治日本の産業革命遺産がある萩市、日本遺産に認定された津和野町に隣接するが、広域観光周遊が進まない					
	医療	・萩市(旧田万川町、旧須佐町)及び阿武町は救急搬送に30分以上要する高次救急医療の空白地域である			医療	救急医療機関への速達性、確実性の確保	

2. 第1回意見聴取の結果

4) 意見聴取の方法・対象者と回収率

■意見聴取の方法・対象者と回収率

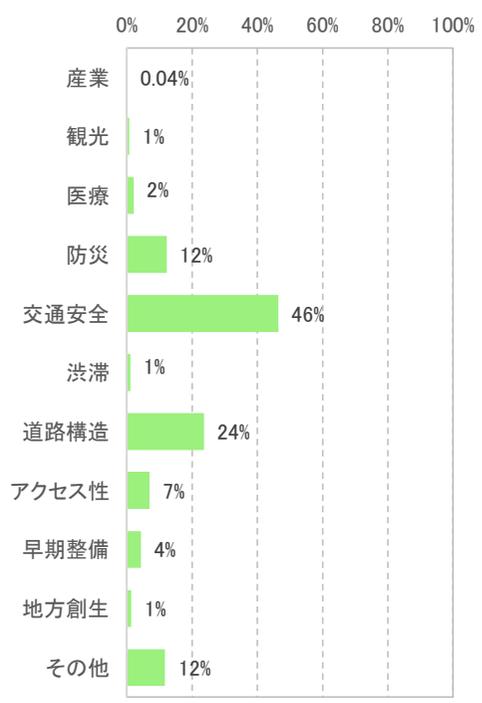
調査種別	対象者	実施期間	実施方法	対象地域・団体等	配布件数	回収件数	回収率 (%)	
アンケート	地域住民	平成28年11月11日(金)～ 平成28年12月9日(金)	郵送回収	益田市(旧益田市)	約20,200部	2,896	14.3	
				萩市(旧田万川町)	約2,550部	704	27.6	
				萩市(旧須佐町)				
				益田市、萩市のうち旧市町まで記載がないもの、その他市町	—	129	—	
				小計	約22,750部	3,729	16.1	
	企業及び団体	常設	平成28年11月24日(木)～ 平成28年12月16日(金)のうち、 平日、休日それぞれ1日ずつ	調査員による 聞き取り	住民アンケート全戸配布エリアに本店・支店・営業所のある企業	約1,400部	369	26.4
					小計	約1,400部	369	26.4
	道路利用者	常設	平成28年11月11日(金)～ 平成28年12月9日(金)	WEB	道の駅、官公庁等にてアンケート票を配布(38箇所)	2,820部	1,682	59.6
					道の駅(ゆうひパーク浜田、ゆうひパーク三隅、サンエイト美都、匹見峡、シルクウェイ日原、津和野温泉和みの里、道の駅ゆとりパークたまがわ、道の駅萩しーまーと、道の駅萩往還、道の駅萩さんさん三見、道の駅ハピネスふくえ、道の駅うり坊の郷、道の駅あさひ、道の駅阿武町)	976部	976	100
					小計	—	1,070	—
合計					約27,950部	7,826	28.0	
ヒアリング	地域及び広域	平成28年11月24日(木)～ 平成28年12月16日(金)	ヒアリング ※一部郵送	自治体	17	団体・企業		
				警察署・消防署・病院(2次医療施設)・介護施設	7	団体・企業		
				農協	2	団体・企業		
				漁協	2	団体・企業		
				森林組合	2	団体・企業		
				商工会議所	2	団体・企業		
				観光協会	4	団体・企業		
				地元企業(農業、畜産業、林業、観光業)	8	団体・企業		
				工業団地(石見臨空ファクトリーパーク)	8	団体・企業		
				地域外企業	1	団体・企業		
				観光客(周辺の道の駅及び主要観光地)	9	箇所		
				ドライバー(運送会社、バス会社・郵便局)	4	団体・企業		
				合計	57	団体・企業、9箇所		

2. 第1回意見聴取の結果

5) 交通課題（アンケート自由意見）

○幅員の狭いトンネル、急カーブ・急勾配など交通安全や道路構造に課題を感じている意見が多い。

アンケート意見



回答者数：2,690人

※同一回答者で複数の自由意見の記載がある場合は、それぞれで分類するため合計値は100%とならない

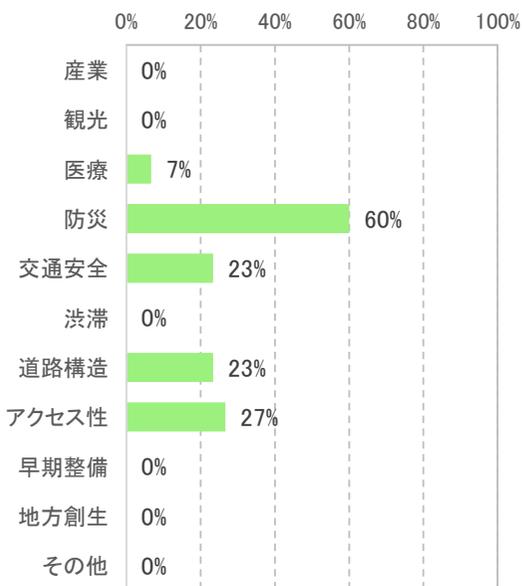
分類	回答者属性	主な意見
観光	道路利用者/その他萩市内/50代男性	・観光には快適なドライブが必要。
医療	住民/益田市(旧益田市)/60代女性	・生命にかかわる救急が必要な時、移動に時間がかかることから一刻を争う事態に対応できない。
防災	道路利用者/その他島根県内/50代男性	・益田市と萩市を結ぶ幹線道路が国道191号一本というのは非常時のリスクが大きいと思う。
	住民/益田市(旧益田市)/50代男性	・通行止めが発生すると迂回に時間がかかるし細道で、2重の災害になりそうで不安。
交通安全	住民/益田市(旧益田市)/60代男性	・人形トンネルは暗くて幅員も狭く感じる。雨天の時はトンネル内にも水が入りスリップしそうで危険を感じることもある。このため萩や田万川方面へは小川経由で向かっている。
	住民/益田市(旧益田市)/40代男性	・大型車がお年寄りの運転する車を追い越す区間が少なく無理な追い越しによる事故を誘発している。
	住民/益田市(旧益田市)/30代男性	・急勾配が多いため、雪が積もるとスリップ事故が多発する。
	住民/益田市(旧益田市)/30代男性	・アップダウン、カーブの連続でいつも以上に運転の気が抜けない。
渋滞	住民/益田市(旧益田市)/70代男性	・久城IC～高津IC間の県道の混雑、及び空港入口迄の191号の混雑が厳しい。
道路構造	住民/益田市(旧益田市)/70代男性	・カーブが多く大型とすれ違くと恐ろしく事故につながる。安心して走行できない。
	住民/萩市(旧田万川町)/80代男性	・トンネル内の歩道が狭く、自転車や人がいると危険を感じる。
	道路利用者/その他萩市内/40代男性	・急勾配の箇所は、走行に気を使う。
アクセシビリティ	住民/益田市(旧益田市)/年齢不明女性	・バスや電車等の交通機関もよくない山陰地方では、山陰道がとても大切であり、観光や商業など発展させるためには、一日も早く計画実行してほしい。
	住民/益田市(旧益田市)/年齢不明女性	・益田と萩(特に田万川)は生活圈、経済圏としても一体的になりつつあり、圏内の迅速な移動を可能にする必要がある。
早期整備	住民/萩市(旧須佐町)/70代男性	・191号線(特に益田～田万川(須佐))は、迂回路が無く、緊急車両の運用にも支障があり、生命にもかかわる。早期整備を熱望する。
地方創生	住民/益田市(旧益田市)/60代男性	・山口(萩等)との接続が悪く、空港利用、観光等産業面で他地域と比して見劣りするの、交通網の未整備に尽きる。
その他	住民/益田市(旧益田市)/40代女性	・高津ICが混むから困るので、早く高架を通して欲しい。
	住民/益田市(旧益田市)/70代男性	・現在の状況で問題は無いと思います。今後交通量が増えるとは思えない。

2. 第1回意見聴取の結果

6) 交通課題（ヒアリング調査における主な意見）

- 代替路の不足による、災害・事故時の企業活動への影響や大幅な迂回が生じる事への意見が多い。
- 萩・石見空港や石見臨空ファクトリーパーク等へのアクセス性の悪さに関する意見が多い。

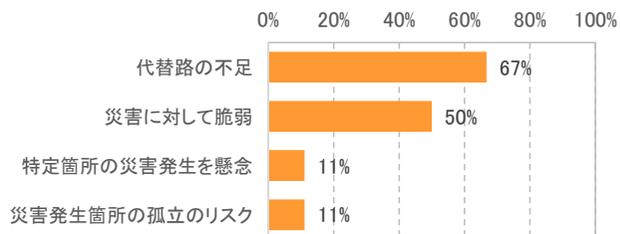
ヒアリング意見



回答者数：57団体のうち30団体回答

※複数の項目に対する意見はそれぞれの項目でカウントしているため合計値は100%とまらない

防災に関する意見の内訳



回答者数：18団体

※上位4項目について挙げています

※複数の項目に対する意見はそれぞれの項目でカウントしているため合計値は100%とまらない

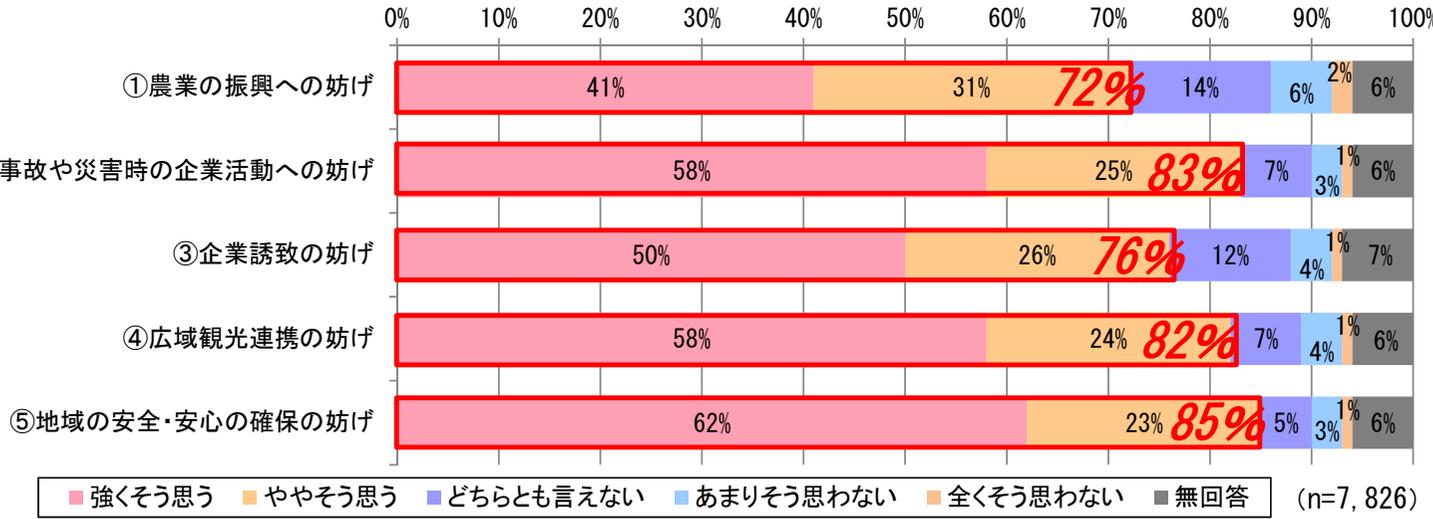
分類	主な意見
医療	・救急搬送の際、道が悪いと患者の負担が気になる。また、緊急時でも線形不良で速度を落とさざるを得ない。(消防)
防災	・H25.7豪雨災害時は国道が通行止めとなり、行方不明者の捜索や救助活動等を行うために海上保安庁の船で益田市まで警察官を運び、被災地へ入った。海上保安庁との連携は異例であった。(警察)
	・H25.7の災害のときは国道191号や周辺道路も通行止めだったため、浜田方面に行くのに国道9号まで迂回し2時間以上も時間がかかった。(漁協)
	・人形トンネルの事故や火災発生は、迂回路がないため、発生した場合の影響が懸念される。(萩市)
	・191号、315号通行止めにより被災現場へ車両で行くことができず被害状況の把握に時間が掛かった。江崎交番から状況報告はあったが、十分ではなかった。(警察)
交通安全	・松永牧場では、国道191号の通行止め(8日間)により、飼料が底をつき危機的な状況となった。(島根県)
	・人形トンネルでは幅員も狭く暗いため、事故の懸念が高い。(消防)
	・トンネルが暗く、歩道に柵もない。歩行者や自転車の通行が危険だと感じる。自転車は地元の方だけではなく、ロードバイク等の観光客も通る。(商工会議所)
道路構造	・平成25年に人形トンネル内で歩行者の死亡事故が発生し、過去には自転車、リヤカーの歩行者がはねられる人身事故も発生している。(益田市)
	・林業の輸送は原木、製材等大きなトラックで輸送することが多いため、人形トンネルの狭さは輸送上厳しい。(林業)
	・輸送時は急カーブ、急勾配も問題で、カーブと勾配が重なっていると魚を高く積めない等の問題がある。(漁協)
アクセシビリティ	・トンネル内で事故等が発生した場合、幅員が狭隘であることから、場合によっては通行止をしなければならないことがある。(益田市)
	・鮮魚を空輸しているが、萩・石見空港は遠いうえ利便性が悪く、山口宇部空港を利用せざるを得ない。(漁協)
アクセシビリティ	・小郡萩道路の整備により萩から九州までの移動は非常に良くなったが、ファクトリーから萩までいくのが走りにくい時間も要するため大変である。(製造業)

2. 第1回意見聴取の結果

7) 改善すべき地域の課題 (アンケート調査)

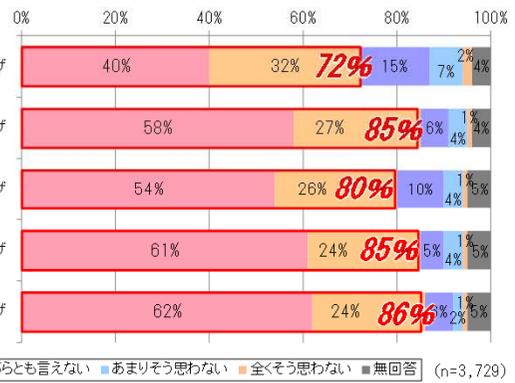
○全ての項目で改善すべき地域課題と感じている方の割合がかなり高く、特に「②事故や災害時の企業活動への妨げ」「④広域観光連携の妨げ」「⑤地域の安全・安心の確保の妨げ」を改善すべき地域の課題としている意見が多い。

【全体割合】

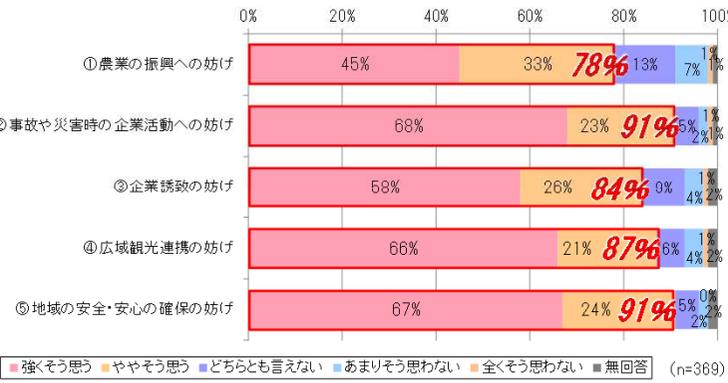


【対象者別割合】 ⇒ 課題と感じている方の割合は、住民、事業所、道路利用者別にみても偏りなく高く、設定課題は地域全体の課題といえる。

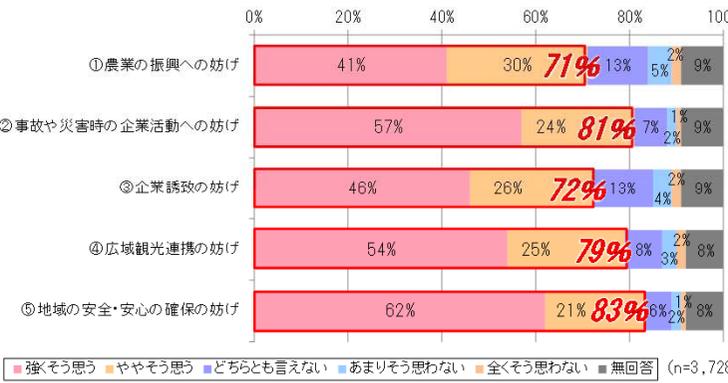
住民



事業所



道路利用者

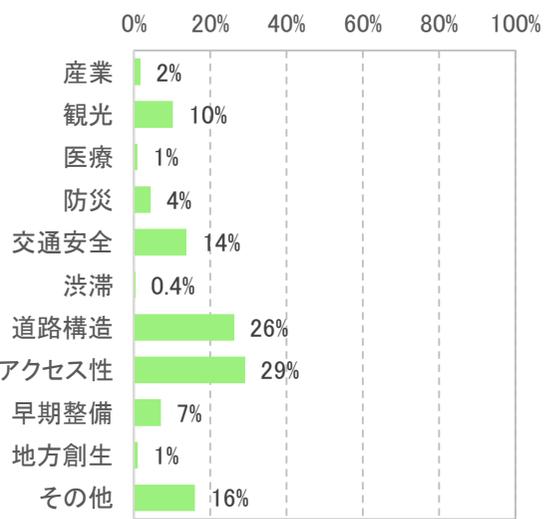


2. 第1回意見聴取の結果

8) 改善すべき地域の課題（アンケート自由意見）

○走りやすく、工業団地・空港などの拠点や集落等へのアクセスを配慮事項に挙げる意見が多い。
 ○一方で、交通安全面や道路構造などを配慮事項に挙げる意見も多い。

アンケート意見



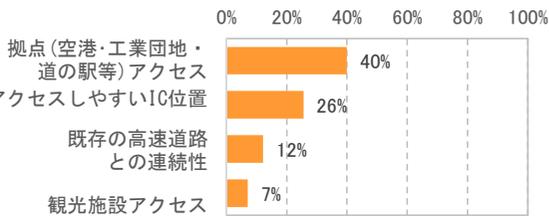
回答者数：7,174人

※回答者数はアイデア、配慮それぞれの意見を合計しているため、他の質問より多くなっている

※同一回答者で複数の自由意見の記載がある場合は、それぞれで分類するため合計値は100%とならない

分類	回答者属性	主な意見
産業	住民/益田市(旧益田市)/70代男性	・企業誘致が進んでいない石見臨空ファクトリーパークと関連した山陰道の整備をすること。
観光	道路利用者/その他萩市内/60代男性	・山陰の市町村が連携して山陰道を活用した観光ルートを作成すること。
医療	道路利用者/萩市(旧田万川町)/40代男性	・益田市内の救急医療機関への搬送中の患者に負担のかかるカーブや勾配を無くし、快適な山陰道を作ってほしい。
防災	道路利用者/その他萩市内/40代男性	・今の国道191号が通行止めになると、益田市や萩市への移動に非常に時間がかかる。山陰道は災害に強い道路にしてほしい。
交通安全	住民/益田市(旧益田市)/20代男性	・中央分離帯を必ず作ってほしい。コンクリブロックでも構わない。あるのとないのでは違う。
	住民/益田市(旧益田市)/40代女性	・年配の人が間違えて逆走しないような、わかりやすい道路の流れ、表示等にして欲しい。
渋滞	住民/益田市(旧益田市)/50代男性	・高津地区において交通渋滞が多発している。早く改善してほしい。
道路構造	住民/益田市(旧益田市)/40代男性	・高齢者も多く利用すると思うので、追越し区間を多くすること。
	住民/益田市(旧益田市)/60代男性	・カーブがゆるやかで、高低差が少ない道が快適に走ることが出来、また、国道9号、国道191号とのアクセスがスムーズである事。
アクセシビリティ	住民/益田市(旧益田市)/70代女性	・整備予定路線を飛び飛びの細切式でなく、既開通区間に繋げるように延伸した方がよい。細切開通では効果が小さい。
	住民/益田市(旧益田市)/60代女性	・空港から工業団地及び観光地の津和野に近いインターチェンジを作るルートにして欲しい。
	道路利用者/その他島根県内/40代男性	・沿線には集落等が点在しており、できるだけ沿線地域が利用しやすいようにIC間隔を狭くして、利便性の高いアクセスを確保する。
	道路利用者/萩市(旧田万川町)/50代男性	道の駅「ゆとりパーク田万川」は、地元のかだものや野菜、魚などの特産品を販売する田万川地域の産業振興の拠点です。山陰道が整備されれば、益田市方面からのアクセスが向上し、更なる誘客が望めます。
早期整備	住民/益田市(旧益田市)/60代女性	・高齢化が進んでいる地域なので早急な整備を行い、地域の活性化に繋がっていかないと地域の崩壊となっていくのではないのでしょうか。
地方創生	道路利用者/その他島根県内/40代男性	・石見に比べ、よその地域は高速道路もあり、新幹線もありとあまりにも格差がひどすぎ、石見は取り残されますます田舎になってしまう。せめても高速道路は早く整備してほしい。
その他	道路利用者/四国地方/60代女性	・便利になるが、通過点になると地域がさびれるのはこまる。

アクセシビリティに関する意見の内訳



回答者数：2,088人

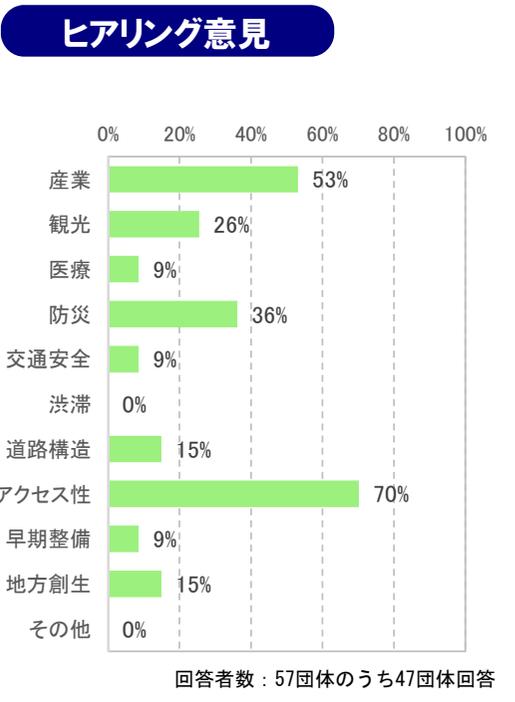
※上位4項目について挙げているため、100%とならない

※同一回答者で複数の自由意見の記載がある場合は、それぞれで分類するため合計値は100%とならない

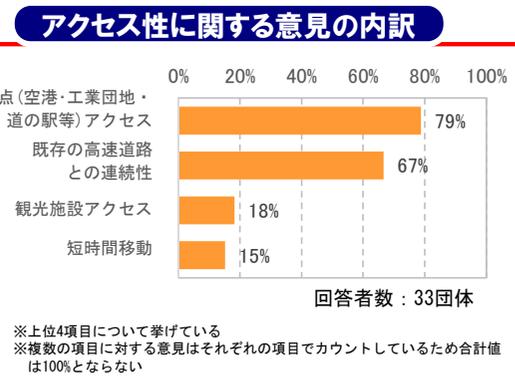
2. 第1回意見聴取の結果

9) 改善すべき地域の課題（ヒアリング調査における主な意見）

○山陰道のネットワークや拠点アクセスの向上が求められており、産業振興への支援や観光周遊性の向上を期待されている。



※複数の項目に対する意見はそれぞれの項目でカウントしているため合計値は100%と異なる



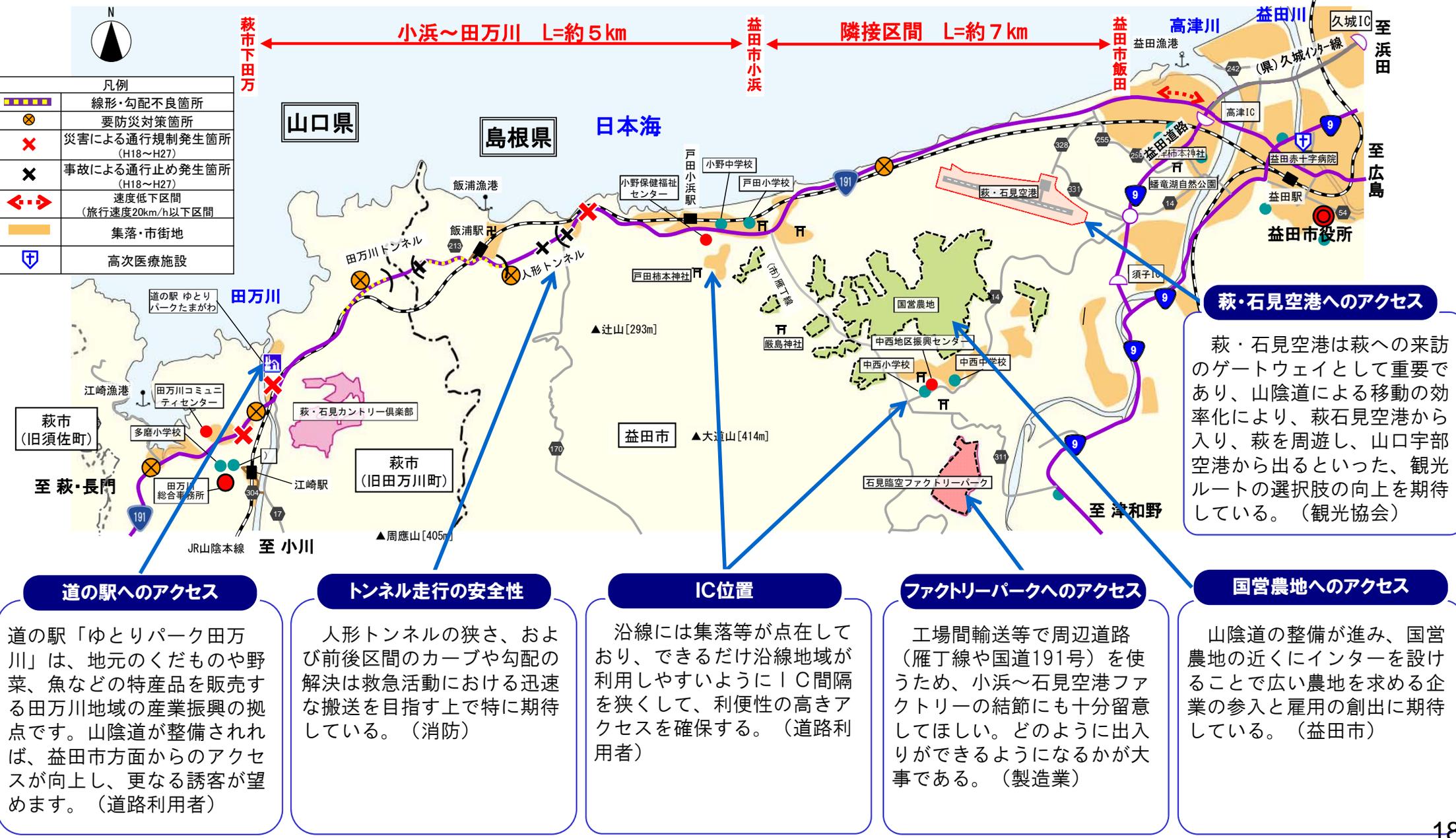
※上位4項目について挙げています
 ※複数の項目に対する意見はそれぞれの項目でカウントしているため合計値は100%と異なる

分類	主な意見
産業	・九州方面は益田からの物流が少ないため、路線便の便数も少なく、配送で利用しづらい。(農協)
	・3つの牧場へ飼料を博多港からコンテナで1日2~3台輸送しており、中国道、小郡萩道路、国道191号を使って輸送しているが、H25災害のときは原材料の入荷や出荷経路が通行止めになった。他の道を使って何とか対応したが、国道191号の脆弱性は課題である。(畜産業)
	・九州地方は暖かいので、益田と出荷時期がずれることから、九州方面に拡大したいという思いがある。ただ、益田から九州地方への物流が全体的に少なく路線便も少なく利用しづらいので、配送時間が短縮されて、九州方面への物流が増えて路線便も増えてくることに期待している。(農協)
観光	・萩・石見空港は萩への来訪のゲートウェイとして重要であり、山陰道による移動の効率化により、萩石見空港から入り、萩を周遊し、山口宇部空港から出るといった、観光ルートを選択肢の向上を期待している。(観光協会)
	・山陰道が整備されれば、ツアー自体が時間短縮となり、バス代が安価になるためツアー商品の価格も抑えられる。また、時間に余裕ができるので買い物等のための立ち寄り箇所を増やせる可能性がある。(ツアー会社)
医療	・災害時に191号が通行止めになると迂回路が人家の間を抜ける狭い旧道しかなくなってしまうため、緊急車両の走行が困難になる。(消防)
	・人形トンネルの狭さ、および前後区間のカーブや勾配の解決は救急活動における迅速な搬送を目指す上で特に期待している。(消防)
防災	・人形トンネルが通行止めになると飯浦は孤立してしまう。(益田市)
	・危機管理にむけて初動体制の確保が重要であり、先般の災害を踏まえても、山陰道による初動対応が可能な安定した陸路の確保を期待している。(萩市)
交通安全	・狭いところとか、カーブとかいったところの危険性がなくなることを期待する。(運送業)
道路構造	・林業の輸送は原木、製材等大きなトラックで輸送することが多いため、人形トンネルの狭さは輸送上厳しい。(森林組合)
アクセシビリティ	・ファクトリーパークがある企業の進出候補地になったが、交通手段が不便であったというのも候補から外れた要因のひとつとなった。(益田市)
	・高津の渋滞等の問題があるため、小浜～田万川だけでなく隣接区間も繋げてほしい。(病院)
	・小浜～田万川間の整備により、当該区間の事故等による通行止めの削減は期待しているが、迂回路という観点からは、当該区間のみでなく、山陰側全体に関係するものであるため、ネットワークとして検討してほしい。(萩市)
早期整備	・工場間輸送等で周辺道路(雁丁線や国道191号)を使うため、小浜～石見空港ファクトリーの結節にも十分留意してほしい。どのように出入りができるようになるかが大事である。(製造業)
	・担い手の確保が課題である。山陰道を早期に着工してほしい。そうでなければ地域から若者がいなくなってしまう。(林業)
地方創生	・益田市への通勤がしやすくなるため、仕事は益田市で、生活は阿武町でというスタイルもしやすくなるし、帰省する際の利便性も良くなるなど、定住のための条件が良くなるのが期待できる。(阿武町)

2. 第1回意見聴取の結果

10) アンケート結果とヒアリング結果のとりまとめ

○アンケート及びヒアリングにおいて、萩・石見空港やファクトリーパークなど拠点施設へのアクセスに関する意見が多くあった。



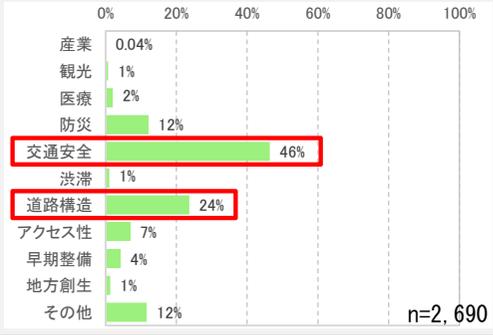
2. 第1回意見聴取の結果

1.1) まとめ

【アンケート結果】

交通課題

全体の回答の約5割が、「交通安全や道路構造に課題を感じている」と回答している。

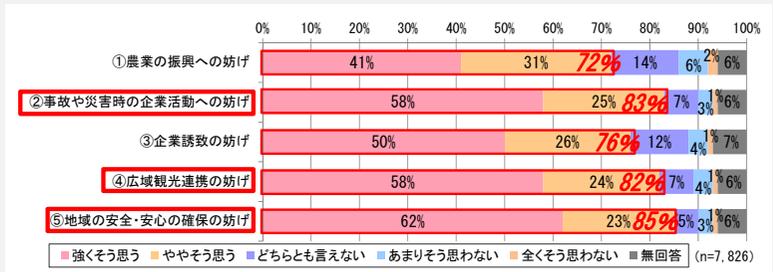


【アンケート自由意見】

・人形トンネルは暗くて幅員も狭く感じる。雨天の時はトンネル内にも水が入りスリップしそうで危険を感じることもある。このため萩や田万川方面へは小川経由で向かっている。(住民)
 ・アップダウン、カーブの連続でいつも以上に運転の気が抜けない。(住民)

改善すべき地域の課題

全体の回答の約8割が、「②事故や災害時の企業活動への妨げ」、「④広域観光連携の妨げ」「⑤地域の安全・安心の確保の妨げ」を改善すべき地域の課題としている。

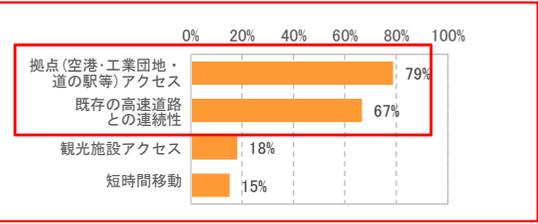
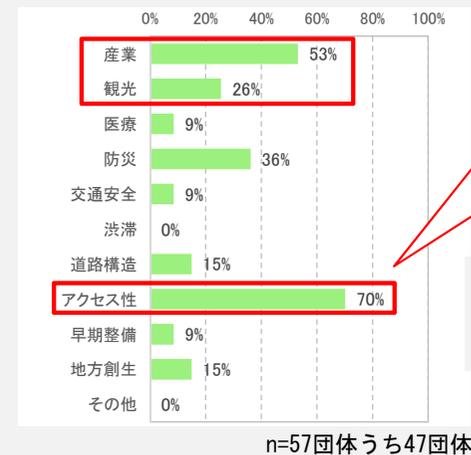


【ヒアリング結果（企業等）】

改善すべき地域の課題

全体の回答の約7割が、「アクセス改善を望む」と回答している。また、産業振興や観光振興を望む声も多数存在している。

- ・鮮魚を空輸しているが、萩石見空港は現状では遠いうえ利便性が悪く、山口宇部空港を利用せざるを得ない。(漁協)
- ・工場間輸送等で周辺道路(雁丁線や国道191号)を使うため、小浜～石見空港ファクトリーの結節にも十分留意してほしい。どのように出入りができるようになるかが大事である。(製造業)
- ・萩・石見空港は萩への来訪のゲートウェイとして重要であり、山陰道による移動の効率化により、萩石見空港から入り、萩を周遊し、山口宇部空港から出るといった、観光ルートを選択肢の向上を期待している。(観光協会)



・アクセス性に関する意見の内訳は、「拠点アクセス」や、「既存の高速道路との連続性」の回答が大半。

まとめ

- 第1回小委員会で整理した交通の課題と地域の課題について妥当性を確認。
- 地域の産業振興や周遊観光、広域的な救急搬送の観点等から、拠点施設のある隣接区間(須子～小浜)も含めたアクセス改善が望まれている。
- 小浜～田万川においては、道路線形や防災面に不安を抱えている意見が多く、特に、災害時の安全・安心な通行の確保として早急な対応が求められている。

3. 対応方針（原案）の検討

3. 対応方針（原案）の検討

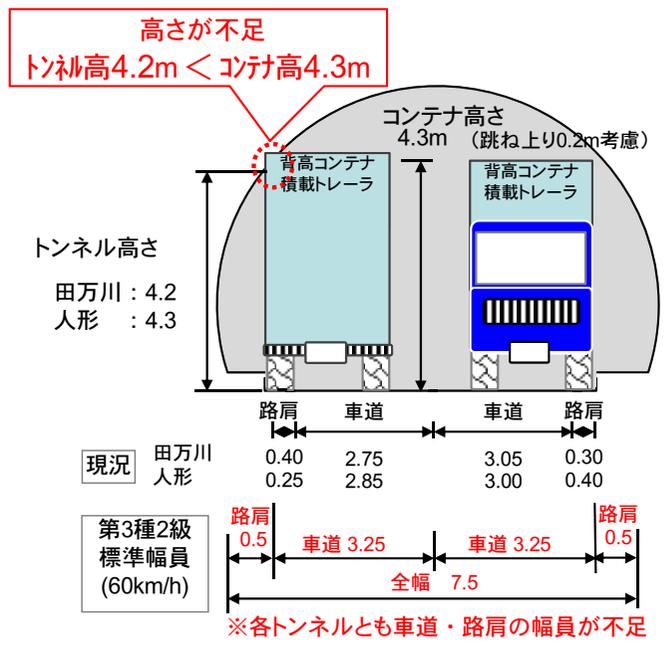
1) 現道の課題（道路構造不良箇所）

- 当該区間には急カーブ(R150未満:3箇所)、急勾配区間(i=最大7.3%)が存在。
- 当該区間のトンネル(2箇所)において、現在の基準では道路幅員など内空断面が不足。また、トンネル端部の高さは、4.2mとなっており、コンテナ車等の通行に支障をきたしている。



凡例	
	線形・勾配不良箇所
	事故による通行止め発生箇所 (H18～H27)
	R=150m未満

■トンネル断面の状況(単位:m)
田万川トンネル(S48完成) 人形トンネル (S47完成)



■道路構造不良箇所の回避



信号交差点手前の見通しの悪い急カーブ

■トンネル断面不足の解消

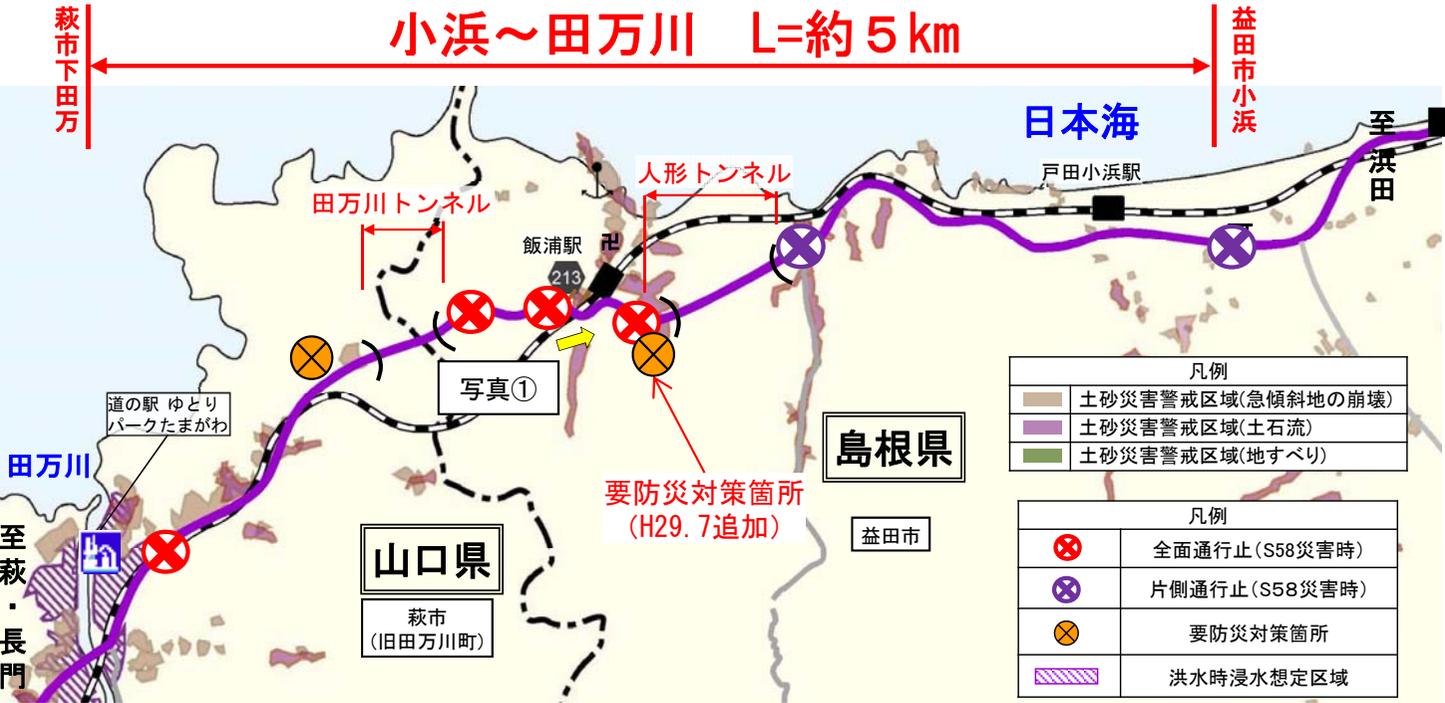


中央線をはみ出して走行する車両

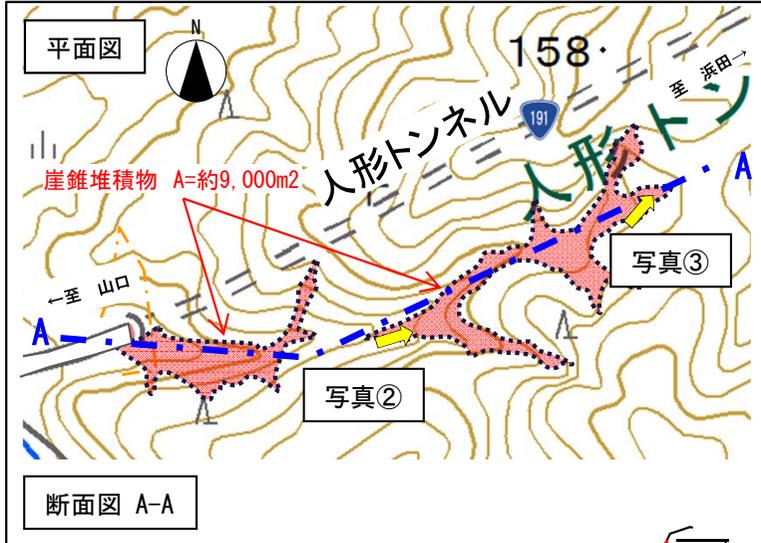
3. 対応方針（原案）の検討

1) 現道の課題（災害への脆弱性）

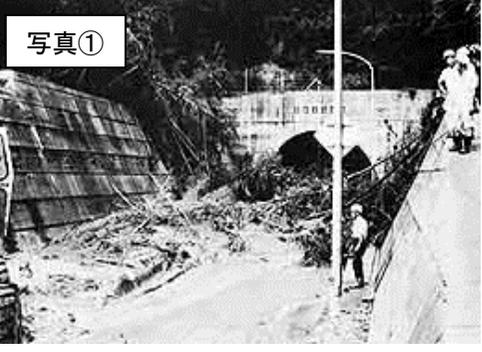
- 第1回意見聴取において、防災上の課題を挙げる意見があったことから、過去の被災履歴箇所（S58年災害）の現地踏査を実施。
- 人形トンネル西坑口の谷上流部について変状を確認したことから、防災ドクターによる診断を実施し、降雨時に土石流発生危険性を確認したため、要防災対策箇所に追加。
（小浜～田万川間において要防災対策箇所が2箇所となる。）



■人形トンネル西口坑口付近の沢部の状況



■S58.7人形トンネル西口付近



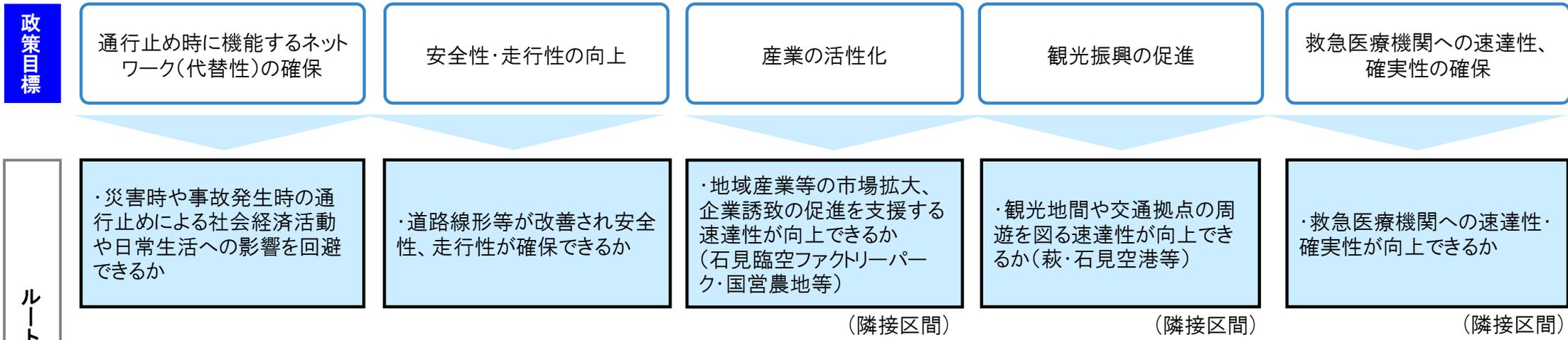
■人形トンネル西口坑口付近の現況



3. 対応方針（原案）の検討

2) 概ねのルート帯案抽出までの流れ

○設定した政策目標に対し「須子～小浜」を優先区間として追加し、複数のルート帯案の検討を進めることが妥当。



ルート帯選定のポイント

【政策目標の達成にあたって配慮すべきポイント】

・政策目標を達成するための対策方針(ルート帯案)については、当該区間(小浜～田万川)に隣接区間(須子～小浜)を追加することにより、効率的・効果的な評価が可能。
 (主要な拠点施設(工業団地・空港等)が存在する当該区間東側の隣接区間(須子～小浜)を評価区間に追加することで、産業の活性化、観光振興の促進の視点で評価することが可能。)

「須子～小浜」を優先区間として追加し、「須子～田万川」について地域と道路の状況と課題、政策目標を整理したうえで概略ルート・構造の検討に必要な調査を進めていく

※小浜～田万川間については、課題に対し、早急に対応する観点から、現道対策を中心に検討を進める予定

政策目標の達成状況を確認するためのルート帯区間の設定

3. 対応方針（原案）の検討

3) 隣接区間を含めたルート帯案の検討の必要性

- 意見聴取の結果、隣接する須子～小浜間において、現道191号の渋滞や浸水区域を通過するなどの課題に加え、萩・石見空港や石見臨空ファクトリーパークへのアクセスなど地域振興に関する意見が多くみられた。
- 地域振興について、効果的・効率的なルート帯を検討するためには、現在の小浜～田万川間に加え、隣接する須子～小浜間まで区間を拡大し、一体的に計画段階評価を実施することが必要。
- 小浜～田万川間については、課題に対し、早急に対応する観点から、現道対策を中心に検討を進める予定。



	線形・勾配不良箇所
	要防災対策箇所
	災害による通行規制発生箇所 (H18～H27)
	事故による通行止め発生箇所 (H18～H27)
	速度低下区間 (旅行速度20km/h以下区間)
	洪水時浸水想定区域
	高次医療施設

	土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊)
	土砂災害警戒区域(土石流)
	土砂災害警戒区域(地すべり)

コントロールポイント	社会状況による要因	◆集落・市街地	
		◆学校 (中西小学校、戸田小学校、多磨小学校、中西中学校、小野中学校、田万川中学校)	
		◆公共施設 (中西地区振興センター、小野保健福祉センター、田万川コミュニティセンター、田万川総合事務所)	
		◆神社・仏閣	

コントロールポイント	社会状況による要因	◆主要施設	-
		萩・石見空港	
		国営農地	
		石見臨空ファクトリーパーク	
		萩・石見カントリー倶楽部	
		道の駅ゆとりパークたまがわ	

コントロールポイント	自然的状況による要因	◆貴重な動植物 ※ルート帯確定後の詳細設計段階で生息域などに考慮する(今後、調査を実施して生息域などを把握)	-
		◆名勝及び天然記念物	-

※コントロールポイントとは、社会的影響が大きく回避すべき建物等

3. 対応方針（原案）の検討

4) 計画段階評価の検討の流れ

■計画段階評価手続きの進め方、スケジュール(案)

(今回)

【平成27年4月】 【平成28年6月】 【H28年11月～12月】 【H29年8月22日】

優先区間絞り込み

中国地方小委員会

- 地域、道路、交通の状況と課題
- 優先区間絞り込みの観点
道路の現状・課題の整理
意見聴取の結果
- 優先整備区間(案)の検討、選定

中国地方小委員会 (第1回)

- 計画段階評価手続きの進め方、スケジュール(案)
- 地域、道路の状況と課題
- 意見聴取方法

意見聴取 (第1回)

- 地域、道路の課題
- 山陰道を整備する上での配慮事項
- ◆意見聴取方法
《ヒアリング》
対象者: 関係自治体・団体
企業
- 《アンケート》
対象者: 地域住民
企業等
道路利用者等

中国地方小委員会 (第2回)

- 計画段階評価の検討の流れ
- 第1回意見聴取の結果
- 政策目標の設定
- 対応方針(原案)の検討

中国地方小委員会

政策目標の整理等

■地域と道路の状況と課題・

■評価項目の設定等

■比較ルート案(複数案)等

■(概略ルート、構造等)等

対応方針案

意見聴取

対応方針の決定 (概略ルート、構造等)

※各段階で随時自治体と調整

地方小委員会